

# 蘇れ 農地！ つながれ 未来へ！

～ 企業の参入により見えた一筋の光 ～



村のシンボル  
ヒダリマキガヤ

能座農会長 高階 博



蘇る休耕田

# 過疎・高齢化の進行



戸数:34戸 人口:87人  
高齢化率:49.43%  
(養父市平均36.22%)  
平成29年3月31日現在

高齢化率50%超え間近  
とうとう限界集落へ!



空き家の増加・廃屋化  
放置され荒廃する農地



# 農地を大切にした先人達



国土地理院 1976年(昭和51年)画像

まさしく棚田

子や孫のために



ほ場整備後の田畑

# 機械が使える広い田を！

平成6年に **悲願**のほ場整備が完了

だが、超急傾斜地のため、長大法面を持つ農地となってしまった。



急で高くて長い法面  
刈り終わるまで何度も往復

登記部分外は官地  
この草刈りも大変



耕作できる水張り面積  
は、登記面積の半分！

# 農地と村を守る取組み

## 村日役の数々



水路草刈り



有害鳥獣柵点検・補修



老人会のみなさんも



コスモスの種まき

## 交付金制度の活用

- ・中山間地域等直接支払交付金
- ・多面的機能支払交付金

休耕地・放棄地の保全活動



共同利用の施設・機械



# 差し迫る現実・・・もうだめだ！

離村、高齢化、病気、死亡

作業可能者は  
減る一方

増え続ける  
休耕田

もう多くの農  
地を守れない

茶色が耕作田  
1/3余り



# 訪れた転機！

- ・養父市が**中山間農業特区**に・・・平成26年
- ・三木市の会社 山陽Amnak(株)  
「養父市で酒米づくりをしたい」
- ・市担当者が市内の候補地を案内
- ・耕作不利地の農業が地域貢献だ！  
「**能座の全休耕田で酒米を**」平成27年3月



何もしなければ、  
能座は無くなる・・・

- 3/11 山陽Amnak(株)と能座区役員が面談
- 3/14 能座地区総会で企業受入を決定  
“守ってきた農地が活かされる”



地区総会(H27.3.14)

# 農業生産法人の設立

株式会社Amnakの設立(H27.10.15)

本社;養父市能座62

・役員7名

能座から4名も役員参加

村を挙げて、取り組みを推進するため、  
村の役員から、区長や農会長等が参加



# 地域が全面的バックアップ

## 制度面

農地の選定・手続き、交付金制度の活用、  
有害鳥獣対策

## 作業面

耕運・代掻き等の機械作業  
畦直し、水口・水尻の補修  
有害鳥獣柵の設置  
周辺の竹や木の伐採  
農道や水路の周辺の草刈り



石拾い



柵の設置



# Amnak 酒米づくりの様子



ヤギの手も借りたい



大型機械による農作業



ヤギの手も借りたい



地域の農家も利用できるライスセンターを整備



# 蘇った稲穂！

山側上空より



耕作田は、能座だけでなく、  
建屋地域へ

平成29年耕作面積

能座 72枚 7.9ha(水張り5.5ha)

建屋 28枚 2.8ha

計 100枚10.7ha(水張り8.0ha)

下側上空より



ほとんどの田に稲穂が蘇りました。  
久しく忘れていた、懐かしい風景です！  
住民はコシヒカリ、会社は酒米の栽培

さらに・・・

## 「能座」の名が付いた日本酒が商品化

H28に収穫した酒米のうち約3tを此の友酒造(株)に製造委託(OEM)し、日本酒「能座ほまれ・但馬ほまれ」を製造。

H29. 7月から販売。



そして、もうひとつ・・・

## 役員<sup>の</sup>家族5人が移住



当時、山陽Amnak(株)社員であった増田茜、  
(株)Amnakの役員となり、神戸より能座に移住。

農業しながら、子育てもしたい



# 一筋の光が！

重なったたくさんの偶然。  
1年でも遅かったら、  
村の中の様子は  
全く違っていただでしょう。

まだまだこれからですが、  
今後の発展に  
夢を託しています。

